



凡夫の試行錯誤

教育研修部

川添 義明
KAWAZOE YOSHIAKI

● 昨年から産廃協会のみなさんと一緒に、許可講習会等の運営を担当しています川添です。

梅干しづくり

おいしい梅干しは、奥方が南高梅を毎年買い奥方と娘だけで食べています。そこで私は息子達のため、ここ数年、南高梅を塩分10%で漬けています。

でも、どうしても奥方梅のような皮が軟らかくジューシーな梅干しには程遠い。南高梅をあらかじめ凍らせても、土用干しを長くしてもイマイチ。昨年は梅雨明けに壺の中をみると、一面カビだらけ、捨てるにも面倒。

そこで、あきらめついでに、ホワイトリカーをブン撒き、暇な正月に開けてみると、ななんと、皮は軟らかくジューシーな梅干しに。奥方梅の足元には届きました。

凡夫の試行錯誤→梅雨中にホワイトリカー一振り、土用干しはせず、正月に食べる。

ナス、ピーマンづくり

近くに畑を借り、早5年。毎年、石灰と鶏糞で夏野菜を育てていました。でも、どうしても肥料不足かヒョロヒョロ苗で、一苗で20~30個位の収穫しかできませんでした。

さらに、今年は腰痛2年目で畑仕事はヒョロヒョロ。仕方なく苗の根が張る範囲だけをしっかりと耕し、1対9で土と混ぜる安い肥料で土づくりをしました。ななんと、青々しく凛とした茎。今年は毎日曜にリュック一杯のナス、ピーマンを楽しんでいます。

● 凡夫の試行錯誤→根が張る程度の範囲だけに、即効性・遅行性の肥料を十分に。

編集後記

環境省の組織改編により、7月14日に環境再生・資源循環局が新設されたことに伴い、産業廃棄物課は廃棄物規制課に衣替えされ、これまでの産業廃棄物行政の役割をバトンタッチすることになりました。これを機会に、歴代の環境省産業廃棄物課長による「産廃行政の歴史を学ぶ会」が当センター会議室にて催されましたので、巻頭に「緊急特別企画」を設け、その模様をご紹介します。これまでの産廃行政を振り返るとともに、当時の環境情勢・廃棄物行政担当者の「思い」等が感じ取れる内容となっておりますので、ぜひご覧ください。

「行政のうごき」では、大分県による無人航空機（ドローン）の導入事例を紹介しております。「産廃クロージングアップ」では、大成建設（株）の建設再生資源の巡回回収システムを紹介しております。これまでは実現が難しいと思われていた巡回回収を実現し、資源の再利用、環境負荷の低減に非常に有効なシステムとなっております。これら、官民それぞれの環境分野に係る先進的な取組については、今後も情報を紹介してまいります。

ご多忙の中、記事をお寄せいただいた執筆者の皆様、取材や編集にご協力いただいた皆様、本誌を読んでくださった読者の皆様に心から感謝申し上げます。
(菅野)

本誌に関する連絡先：総務部広報室 e-mail:jigyo@jwnet.or.jp

【アンケートへのご協力のお願い】

より充実した誌面作りのために、本誌の記事内容等に関する読者アンケートを当センターホームページ（以下のURL）に掲載しています。本誌に関するご意見・ご要望を是非、お聞かせください。

URL <http://www.jwnet.or.jp/publish/kikansi/index.html>

日廃振センター情報(季刊) VOL.17 NO.3 発行日：平成29年10月16日発行 発行人：関 荘一郎
発行所：公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア7階
TEL：03-5275-7111 FAX：03-5275-7112 <http://www.jwnet.or.jp/>
デザイン・印刷 株式会社ぎょうせい